



## II

---

# 健康と福祉

# 14 健康づくり

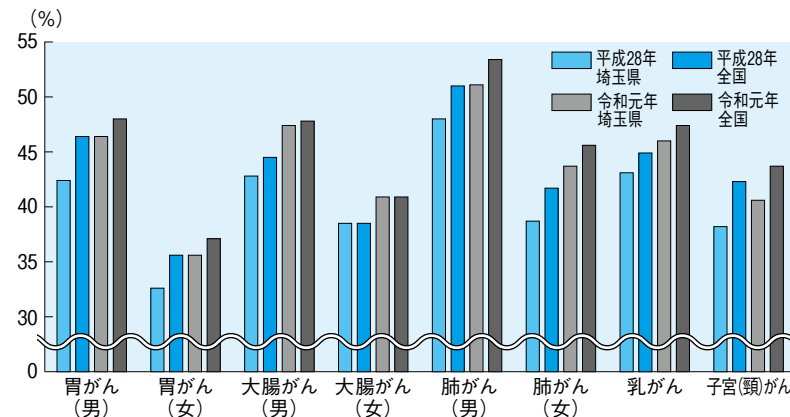
単位	*1 スポーツの行動者率		*2 公共スポーツ施設数		*3 喫煙率 (20歳以上)		*4 健康診査受診率	
	%	順位	か所	順位	%	順位	%	順位
全 国	68.8		51,611		18.3		7.8	
北海道	64.9	35	4,207	1	22.6	1	2.2	43
青森県	56.0	47	795	28	22.1	2	8.0	18
岩手県	60.6	45	1,021	22	20.9	6	13.2	6
宮城県	66.4	28	1,087	19	21.0	5	12.3	8
秋田県	60.6	45	970	23	20.6	7	3.5	36
山形県	61.6	44	757	30	18.0	28	19.9	2
福島県	63.1	41	1,555	8	21.9	3	9.2	15
茨城県	68.5	12	1,360	12	19.1	16	3.2	37
栃木県	69.3	10	1,032	20	19.8	9	2.3	41
群馬県	68.1	16	1,328	13	19.7	11	12.6	7
埼玉県	72.6	2	1,788	5	18.3	24	9.3	14
千葉県	71.6	4	1,665	6	20.2	8	8.9	16
東京都	75.7	1	2,269	2	16.5	41	21.9	1
神奈川県	72.4	3	1,541	9	17.3	35	7.1	23
新潟県	62.6	43	1,534	10	18.7	19	11.7	9
富山県	67.9	18	728	31	18.0	27	10.4	11
石川県	69.1	11	907	25	17.3	34	17.3	3
福井県	65.0	34	563	42	18.4	21	4.5	32
山梨県	68.2	13	700	36	19.1	15	3.7	35
長野県	68.1	16	2,146	3	17.0	37	9.4	13
岐阜県	67.4	20	1,152	17	17.2	36	6.6	24
静岡県	68.2	13	1,441	11	18.4	22	6.2	28
愛知県	71.2	6	1,896	4	18.1	26	6.6	25
三重県	66.9	22	760	29	18.4	23	16.7	4
滋賀県	71.6	4	603	38	16.0	42	6.4	27
京都府	70.1	7	706	35	15.8	45	4.2	33
大阪府	66.9	22	1,273	14	19.1	14	2.8	39
兵庫県	69.5	8	1,271	15	15.7	46	2.9	38
奈良県	69.5	8	523	44	15.3	47	6.5	26
和歌山県	63.6	38	540	43	17.5	31	1.1	46
鳥取県	65.2	33	577	40	17.6	30	10.1	12
島根県	63.5	39	621	37	15.8	43	10.4	10
岡山県	66.8	24	954	24	17.5	32	7.2	20
広島県	66.5	27	1,143	18	17.4	33	4.0	34
山口県	65.8	30	846	27	16.7	39	2.1	44
徳島県	65.4	32	428	47	17.0	38	2.2	42
香川県	66.0	29	487	45	16.6	40	15.3	5
愛媛県	66.8	24	719	32	15.8	43	1.7	45
高知県	62.7	42	476	46	18.2	25	1.1	47
福岡県	65.8	30	1,561	7	19.8	10	2.6	40
佐賀県	63.4	40	591	39	21.2	4	5.2	29
長崎県	64.5	36	878	26	18.9	18	7.1	21
熊本県	66.7	26	1,032	21	18.4	20	7.1	22
大分県	67.2	21	716	33	17.8	29	5.2	30
宮崎県	64.5	36	708	34	19.2	13	7.2	19
鹿児島県	68.2	13	1,186	16	19.1	17	4.7	31
沖縄県	67.9	18	570	41	19.5	12	8.2	17

資料出所  
 \*1 「社会生活基本調査」総務省統計局  
 \*2 「体育・スポーツ施設現況調査」スポーツ庁  
 \*3 国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター  
 \*4 「地域保健・健康増進事業報告」厚生労働省

調査時点又は期間  
 平成28年10月  
 平成30年10月1日  
 令和元年6月  
 令和元年度

調査周期  
 5年  
 5～7年  
 3年  
 毎年

## がん検診受診率(埼玉県・全国)



注) 1 算定対象年齢は40歳から69歳(子宮頸がんは20歳から69歳)。  
 2 乳がん及び子宮頸がん検診については、2年に1回の受診率。  
 資料: 「埼玉県のがんの統計」県疾病対策課

### スポーツの行動者率は全国第2位

「社会生活基本調査」によると、平成28年10月現在、過去1年間にスポーツを行った人は476万人でした。その行動者率(10歳以上人口に占める行動者数の割合)は72.6%で、全国第2位でした。うち男性は76.3%、女性は68.9%でした。

行動者率が高かったスポーツの種類別に、平均行動日数(行動者の過去1年間の行動日数の平均)をみると、行動者率が最も高いウォーキング・軽い体操(行動者率45.3%)が106.6日、次いで器具を使ったトレーニング(同15.7%)が70.2日、ジョギング・マラソン(同13.9%)が54.3日となっています。

### 健康診査受診率は9.3%

「地域保健・健康増進事業報告」によると、令和元年度の健康診査受診率は9.3%で全国第14位でした。糖尿病検査を受診した者のうち、個別健康教育対象者は63.3%となっています。

**健康診査** 当該市区町村の区域内に居住地を有する40歳以上74歳以下の特定健康診査非対象者及び75歳以上の生活保護世帯に属する者等を対象として行う生活習慣病予防に着目した健康診査。

**個別健康教育対象者** 健康診査受診者のうち、検査結果から生活習慣病の重症化予防等のため、個別健康教育による指導が有効であると医師が認めた者又は発症予防等のため、指導が必要な者。

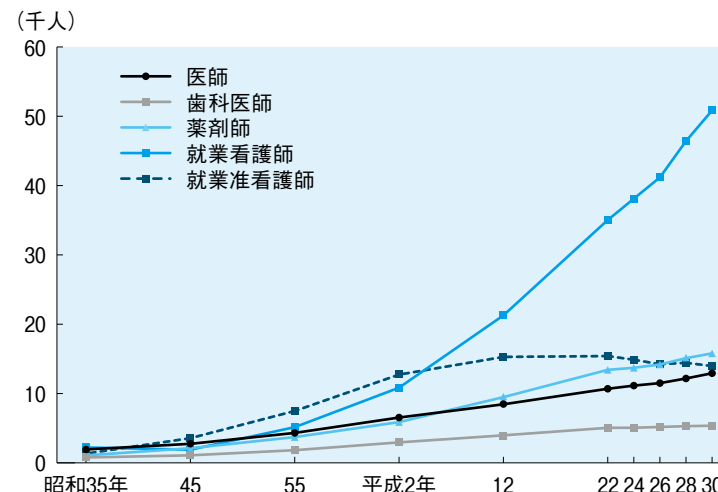
※表\*1の調査の対象は、10歳以上の世帯員です。  
 ※表\*4の健康診査受診率は、健康診査の受診者総数÷健康増進事業等の対象者総数×100で算出。

# 15 医療体制

単位	*1 病院数		*2 病床数		*3 医師数		*4 就業看護師数	
	施設	順位	床	順位	人	順位	人	順位
全 国	8,300		1,529,215		327,210		1,218,606	
北海道	552	2	93,167	3	13,425	7	64,456	4
青森県	94	33	17,106	33	2,712	37	13,048	34
岩手県	91	36	15,589	36	2,673	38	13,637	33
宮城県	138	20	25,200	20	5,792	14	20,086	19
秋田県	68	41	14,654	37	2,413	41	11,311	39
山形県	68	41	14,275	40	2,614	39	11,731	37
福島県	126	26	24,447	21	3,993	25	17,161	23
茨城県	173	14	30,854	15	5,682	15	22,024	18
栃木県	106	30	20,930	25	4,592	20	16,479	27
群馬県	130	23	23,904	22	4,654	19	19,022	20
埼玉県	342	6	62,753	8	12,928	8	50,844	8
千葉県	289	9	59,309	9	12,586	9	45,202	9
東京都	638	1	127,422	1	45,392	1	109,517	1
神奈川県	336	7	74,020	5	20,254	3	67,763	3
新潟県	127	24	27,962	16	4,727	18	22,702	15
富山県	107	28	15,834	35	2,808	36	12,717	36
石川県	94	33	17,410	32	3,430	30	14,616	29
福井県	67	43	10,509	45	2,057	44	8,992	44
山梨県	60	44	10,684	44	2,016	46	8,223	46
長野県	127	24	23,387	23	5,035	17	22,349	17
岐阜県	98	32	20,097	26	4,416	22	16,950	24
静岡県	175	13	37,791	11	7,948	11	32,935	10
愛知県	323	8	67,121	6	16,894	4	61,389	5
三重県	93	35	19,621	28	4,159	24	16,931	25
滋賀県	57	45	14,129	41	3,386	31	14,106	31
京都府	165	15	34,633	12	8,847	10	28,238	12
大阪府	513	3	105,441	2	25,552	2	83,016	2
兵庫県	348	5	64,440	7	14,463	6	54,658	7
奈良県	79	40	16,552	34	3,582	29	12,917	35
和歌山県	83	39	13,240	43	2,915	33	10,795	41
鳥取県	43	47	8,421	47	1,828	47	7,180	47
島根県	49	46	10,274	46	2,050	45	8,769	45
岡山県	161	16	27,642	17	6,088	13	23,523	13
広島県	237	11	38,742	10	7,609	12	31,045	11
山口県	145	19	25,918	19	3,675	27	17,311	22
徳島県	107	28	14,062	42	2,552	40	9,091	43
香川県	88	38	14,456	39	2,852	34	11,501	38
愛媛県	135	22	21,170	24	3,773	26	16,839	26
高知県	124	27	17,508	31	2,308	43	10,668	42
福岡県	459	4	83,874	4	16,310	5	60,730	6
佐賀県	101	31	14,561	38	2,383	42	10,937	40
長崎県	149	18	25,976	18	4,300	23	17,691	21
熊本県	211	12	33,930	13	5,310	16	23,012	14
大分県	155	17	19,838	27	3,283	32	14,600	30
宮崎県	137	21	18,771	29	2,810	35	14,033	32
鹿児島県	241	10	33,022	14	4,545	21	22,504	16
沖縄県	91	36	18,569	30	3,589	28	15,357	28

資料出所 調査時点又は期間 調査周期  
 \*1,2 「医療施設調査」厚生労働省 令和元年10月1日 毎年  
 \*3 「医師・歯科医師・薬剤師統計」厚生労働省 平成30年12月31日 2年  
 \*4 「衛生行政報告例」厚生労働省 平成30年12月31日 2年

## 医療従事者数の推移(各年12月31日現在)



資料:「埼玉県保健統計年報」「統計からみた埼玉県の医療」県保健医療政策課

### 一般診療所数は増加、病床数は病院、一般診療所ともに減少

「医療施設調査」によると、令和元年10月1日現在の病院数は前年より3施設減少し342(精神科病院47、一般病院295)施設、病院の病床数は前年より51床減少し62,753床でした。一般診療所数は前年より50施設増加して4,378施設、病床数は前年より141床減少し2,576床でした。また、歯科診療所数は前年より7施設減少して3,558施設でした。

**病院** 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所であって、患者20人以上の入院施設を有するもの。

**一般診療所** 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所(歯科医業のみは除く)であって、患者の入院施設を有しないもの又は患者19人以下の入院施設を有するもの。

### 医師数、就業看護師数ともに全国第8位

「医師・歯科医師・薬剤師統計」によると、平成30年12月31日現在の医師数は12,928人、歯科医師数は5,358人、薬剤師数は15,793人でした。

このうち、医療施設(病院・診療所)に従事する医師数は、平成30年は12,443人で全国第8位ですが、人口十万人当たりでは169.8人と、全国最下位となっています。しかし、医師数の増加率は、10年前の平成20年と比べて25.0%(2,489人)増加しており、増加率では全国第1位となっています。

「衛生行政報告例」によると、平成30年12月31日現在の就業看護師数は50,844人、就業准看護師数は13,967人、就業保健師数は2,219人、就業助産師数は1,692人でした。

# 16 医療費

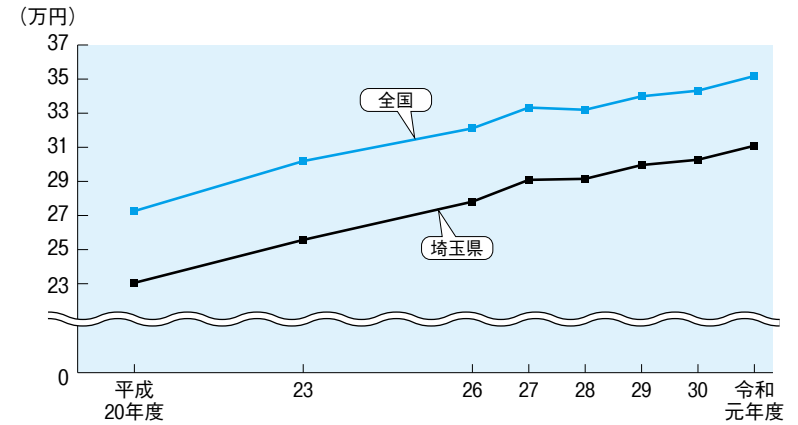
単位	*1 国民医療費		*2 一人当たり 国民医療費		*3 受療率・入院 (人口十万対)		*4 受療率・外来 (人口十万対)	
	億円	順位	千円	順位	—	順位	—	順位
全 国	443,895		351.8		1,036		5,675	
北海道	21,799	6	415.2	8	1,505	9	5,133	41
青森県	4,500	32	361.1	24	1,095	25	6,235	9
岩手県	4,189	33	341.4	33	1,094	26	5,597	27
宮城県	7,584	14	328.9	37	843	42	5,884	18
秋田県	3,727	38	385.9	15	1,239	18	5,823	19
山形県	3,886	36	360.5	26	1,110	24	5,925	16
福島県	6,337	22	343.3	31	1,013	32	5,608	26
茨城県	9,238	13	323.0	41	884	38	5,162	39
栃木県	6,266	23	324.0	40	918	37	5,736	22
群馬県	6,392	21	329.1	36	981	34	5,379	34
埼玉県	22,854	5	310.9	46	753	45	5,243	38
千葉県	19,307	9	308.5	47	755	44	5,133	41
東京都	44,571	1	320.2	42	745	46	5,506	31
神奈川県	28,889	3	314.1	45	706	47	5,331	35
新潟県	7,242	15	325.8	39	1,069	28	5,256	37
富山県	3,708	40	355.1	28	1,360	12	5,397	33
石川県	4,107	34	360.9	25	1,301	15	5,145	40
福井県	2,733	45	355.9	27	1,226	19	5,437	32
山梨県	2,826	44	348.5	29	1,067	29	5,531	29
長野県	6,978	18	340.6	34	935	36	5,033	45
岐阜県	6,816	20	343.0	32	877	40	6,042	13
静岡県	11,977	10	328.7	38	857	41	5,091	44
愛知県	23,964	4	317.3	44	756	43	5,952	15
三重県	6,136	24	344.5	30	960	35	6,055	12
滋賀県	4,503	31	318.5	43	883	39	5,263	36
京都府	9,514	12	368.3	23	1,084	27	5,014	46
大阪府	33,956	2	385.5	16	1,004	33	5,656	24
兵庫県	20,530	7	375.6	20	1,028	31	5,918	17
奈良県	4,926	28	370.4	21	1,035	30	5,102	43
和歌山県	3,722	39	402.4	10	1,215	20	6,446	7
鳥取県	2,050	47	368.7	22	1,268	17	5,638	25
島根県	2,677	46	397.1	13	1,341	14	6,267	8
岡山県	7,178	16	379.8	18	1,175	22	5,766	21
広島県	10,544	11	376.0	19	1,170	23	5,513	30
山口県	5,684	26	418.5	6	1,706	5	6,575	4
徳島県	3,105	43	426.5	4	1,616	7	6,086	11
香川県	3,823	37	399.9	11	1,271	16	6,952	2
愛媛県	5,335	27	398.5	12	1,360	12	5,686	23
高知県	3,236	42	463.7	1	2,101	1	5,788	20
福岡県	20,134	8	394.5	14	1,450	11	6,505	6
佐賀県	3,394	41	416.4	7	1,603	8	7,115	1
長崎県	5,754	25	433.6	2	1,803	3	6,812	3
熊本県	7,163	17	409.8	9	1,747	4	6,572	5
大分県	4,751	30	418.6	5	1,666	6	5,553	28
宮崎県	4,093	35	381.4	17	1,485	10	6,011	14
鹿児島県	6,943	19	433.4	3	1,880	2	6,138	10
沖縄県	4,854	29	334.1	35	1,184	21	4,586	47

資料出所  
\*1,2 「国民医療費」厚生労働省  
\*3,4 「患者調査」厚生労働省

調査時点又は期間  
令和元年度  
平成29年10月

調査周期  
毎年  
3年

# 1人当たり国民医療費の推移



資料:「国民医療費」厚生労働省

## 一人当たり国民医療費は全国で2番目に少額

「国民医療費」によると、令和元年度の国民医療費(当該年度内の医療機関等における保険診療の対象となり得る傷病の治療に要した費用を推計したものは、2兆2,854億円でした。また、一人当たりの国民医療費は31万900円で前年度より約8,200円増加しましたが、千葉県の30万8,500円に次いで全国で2番目に少額でした。一人当たりの国民医療費の推移をみると、本県、全国ともに増加傾向にあります。

## 受療率(人口十万対)は入院・外来ともに前回調査より上昇

「患者調査」によると、推計患者数(平成29年10月の調査日に、病院、一般診療所、歯科診療所で受療した患者の推計数)を患者の住所別別に人口十万対で表した受療率は、入院が753で全国第45位、外来が5,243で全国第38位でした。前回調査(平成26年)の受療率は入院が723、外来が4,974であり、今回調査でともに上昇しました。

## 国民健康保険療養諸費は前年度より減少

「国民健康保険事業年報」によると、令和元年度の県内市町村分の療養諸費(医療費)は5,557億円で、前年度より約129億円減少しましたが、被保険者一人当たりの療養諸費は約8千円増加し、345,590円でした。

**療養諸費** 療養の給付(診療費、調剤)、入院時食事療養・生活療養費、訪問看護療養費、療養費、移送費の合計。

※数値算出に用いた人口

表\*2は、令和元年10月1日現在の「人口推計」(総務省統計局)の総人口。

表\*3,4は、平成29年10月1日現在の「人口推計」(総務省統計局)の総人口。

# 17 感染症・食中毒

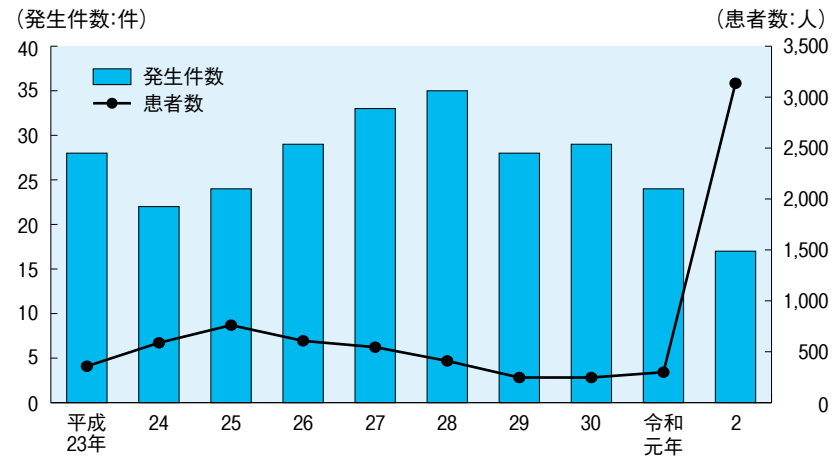
単位	*1 HIV感染者累計報告数 (人口十万対)		*2 腸管出血性大腸菌 感染症報告数		*3 新登録 結核患者数		*4 食中毒患者数	
	—	順位	—	順位	人	順位	人	順位
全 国	17.825		3,744		12,739		14,613	
北海道	7.181	27	280	2	380	9	339	10
青森県	5.297	38	24	38	120	31	67	32
岩手県	2.852	46	69	18	74	39	29	41
宮城県	7.112	28	100	15	135	26	217	14
秋田県	2.588	47	38	31	63	43	56	35
山形県	3.061	45	44	27	70	41	615	4
福島県	5.038	39	34	32	122	28	126	24
茨城県	20.000	3	104	12	287	12	112	26
栃木県	14.529	10	64	19	179	16	22	43
群馬県	11.895	13	101	14	152	22	63	33
埼玉県	8.422	21	152	9	675	5	3,136	2
千葉県	14.699	9	148	10	611	7	212	15
東京都	60.319	1	388	1	1,589	1	3,358	1
神奈川県	15.830	7	189	5	808	4	414	9
新潟県	4.903	40	62	20	147	23	22	43
富山県	4.885	41	31	33	71	40	59	34
石川県	8.348	23	28	35	99	34	43	36
福井県	6.641	32	31	33	63	43	23	42
山梨県	15.536	8	11	45	48	46	34	40
長野県	16.593	6	47	26	138	25	434	8
岐阜県	10.015	17	102	13	265	13	332	11
静岡県	12.925	12	159	7	348	10	284	12
愛知県	18.114	5	165	6	924	3	598	6
三重県	10.275	15	49	25	175	17	77	28
滋賀県	6.931	30	70	17	122	28	210	16
京都府	11.189	14	77	16	292	11	138	22
大阪府	32.524	2	193	4	1,400	2	605	5
兵庫県	9.129	19	154	8	641	6	586	7
奈良県	9.098	20	23	40	133	27	77	28
和歌山県	7.784	24	25	36	110	32	15	46
鳥取県	3.777	43	24	38	34	47	147	19
島根県	3.116	44	8	47	66	42	19	45
岡山県	10.053	16	61	21	153	21	159	18
広島県	9.165	18	53	23	254	14	229	13
山口県	5.449	37	15	43	141	24	115	25
徳島県	6.868	31	14	44	97	35	69	31
香川県	8.368	22	42	29	95	37	138	22
愛媛県	7.095	29	17	41	122	28	139	21
高知県	7.450	25	9	46	49	45	42	37
福岡県	13.245	11	198	3	512	8	674	3
佐賀県	6.626	33	110	11	87	38	14	47
長崎県	4.672	42	43	28	163	20	145	20
熊本県	6.579	34	50	24	170	18	39	39
大分県	6.256	36	25	36	107	33	72	30
宮崎県	6.337	35	42	29	96	36	92	27
鹿児島県	7.241	26	54	22	166	19	176	17
沖縄県	19.339	4	17	41	186	15	41	38

資料出所  
 \*1 「エイズ発生動向年報」厚生労働省エイズ動向委員会  
 \*2 「感染症発生動向調査事業年報」国立感染症研究所  
 \*3 「結核登録者情報調査年報集計結果」厚生労働省  
 \*4 「食中毒統計調査」厚生労働省

調査時点又は期間  
 令和2年末  
 令和元年  
 令和2年  
 令和2年

調査周期  
 毎年  
 毎年  
 毎年  
 毎年

# 食中毒発生状況の推移



資料:「食中毒統計調査」厚生労働省

## 食中毒患者数は前年より大幅に増加

「エイズ発生動向年報」によると、HIV感染者累計報告数(昭和60年～令和2年)は619件で、人口十万対でみると8.422でした。また、AIDS患者累計報告数(昭和60年～令和2年)は405件で、人口十万対でみると5.510でした。

「感染症発生動向調査事業年報」によると、令和元年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、152でした。

「結核登録者情報調査年報集計結果」によると、令和2年の新登録結核患者数は675人で、罹患率(人口十万対の結核患者数)は前年の10.7から9.2に低下しました。

「食中毒統計調査」によると、令和2年の食中毒事件数は前年より7件減少して17件でした。患者数は、県内の小中学校で発生した集団食中毒(患者数2,958人)により、前年より2,837人増加して3,136人でした。

## 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行

埼玉県の発表によると、令和2年2月に県内で最初に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染が確認されてから、令和4年1月5日までの感染者数は累計で116,257人でした。令和2年6月19日以降に新型コロナウイルス感染症の陽性者であって入院中や療養中に亡くなった方は1,059人(うち新型コロナウイルス感染症を死因とする死亡:920人)となっています。

※表\*1、文中のHIV感染者累計報告数(人口十万対)及びAIDS患者累計報告数(人口十万対)の数値算出に用いた人口は、「人口推計(令和元年10月1日現在)」(総務省統計局)によるものです。



# 18 子供

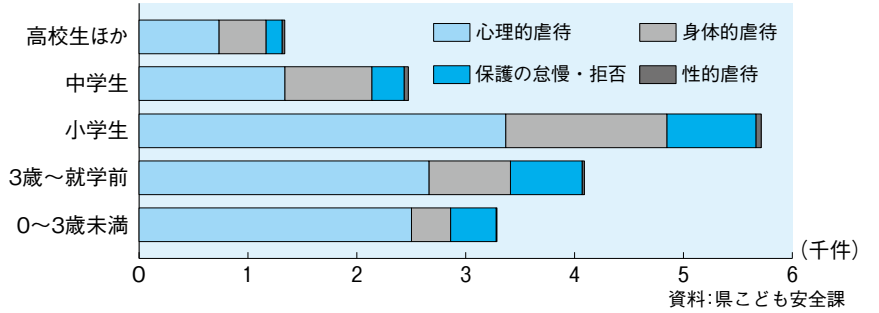
単位	*1 保育所等数		*2 保育所等待機児童数		*3 地域子育て支援拠点数		*4 放課後児童クラブ登録児童数	
	か所	順位	人	順位	か所	順位	人	順位
全 国	38,666		5,634		7,735		1,311,008	
北海道	1,424	9	68	15	381	4	56,531	8
青森県	515	24	-	36	96	28	15,012	32
岩手県	507	26	12	28	89	31	15,624	30
宮城県	813	14	222	8	167	13	29,325	14
秋田県	321	38	10	30	56	43	11,459	39
山形県	384	33	-	36	107	27	15,236	31
福島県	513	25	62	16	119	22	22,181	21
茨城県	820	13	13	27	269	9	41,691	10
栃木県	572	20	-	36	111	25	25,966	17
群馬県	526	23	4	33	158	16	23,825	18
埼玉県	2,186	4	388	6	492	2	70,162	2
千葉県	1,824	6	428	5	342	6	59,366	7
東京都	4,585	1	969	1	618	1	115,270	1
神奈川県	2,633	2	306	7	294	8	68,885	3
新潟県	806	15	-	36	230	12	26,870	16
富山県	321	38	-	36	80	34	13,134	36
石川県	373	35	-	36	80	34	14,969	33
福井県	297	40	-	36	59	42	10,178	42
山梨県	280	42	-	36	69	39	11,862	38
長野県	639	19	21	24	165	14	29,763	13
岐阜県	490	27	-	36	130	18	17,184	26
静岡県	1,004	10	61	17	241	11	32,733	11
愛知県	1,927	5	174	10	378	5	60,349	6
三重県	470	30	50	18	122	20	17,184	26
滋賀県	473	29	184	9	86	33	18,615	24
京都府	703	17	6	32	266	10	29,039	15
大阪府	2,251	3	158	11	468	3	67,820	4
兵庫県	1,527	7	769	2	341	7	53,564	9
奈良県	265	44	132	12	78	37	15,976	28
和歌山県	207	47	30	20	56	43	9,502	43
鳥取県	228	45	-	36	40	47	8,298	45
島根県	323	37	1	34	45	45	9,135	44
岡山県	551	22	104	14	128	19	22,895	20
広島県	835	12	14	26	161	15	32,706	12
山口県	375	34	15	25	117	23	15,967	29
徳島県	224	46	23	23	66	40	8,162	46
香川県	272	43	29	21	93	30	11,368	40
愛媛県	401	31	33	19	89	31	14,307	35
高知県	297	40	12	28	44	46	7,104	47
福岡県	1,436	8	625	3	156	17	60,600	5
佐賀県	340	36	24	22	60	41	11,097	41
長崎県	566	21	-	36	113	24	18,357	25
熊本県	772	16	8	31	121	21	19,225	23
大分県	401	31	-	36	80	34	14,453	34
宮崎県	485	28	1	34	72	38	12,596	37
鹿児島県	659	18	114	13	108	26	23,495	19
沖縄県	845	11	564	4	94	29	21,968	22

資料出所  
 \*1,2 「保育所等関連状況取りまとめ」厚生労働省  
 \*3 「地域子育て支援拠点事業実施状況」厚生労働省  
 \*4 「放課後児童健全育成事業の実施状況」厚生労働省

調査時点又は期間  
 令和3年4月1日  
 令和2年度  
 令和2年7月1日

調査周期  
 毎年  
 毎年  
 毎年

# 児童相談所の児童虐待相談対応件数(令和2年度)



## 保育所等待機児童数は388人

「保育所等関連状況取りまとめ」によると、令和3年4月1日現在の保育所等は2,186か所、利用児童数は130,291人でした。保育所等待機児童数は388人(前年比695人減)となり、3年続けての減少になりました。

## 地域子育て支援拠点数は全国第2位

「地域子育て支援拠点事業実施状況」によると、地域子育て支援拠点数は、令和2年度は492か所で東京都(618か所)に次いで全国第2位でした。

また、「放課後児童健全育成事業の実施状況」によると、放課後児童クラブの登録児童数は、令和2年7月1日現在70,162人で、東京都(115,270人)に次いで全国第2位でした。

- 地域子育て支援拠点** 子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場として、市町村やその助成を受けた社会福祉法人・NPO法人等が運営する施設。
- 放課後児童クラブ** 小学校の余裕教室や児童館等で、共働き家庭等の小学校に就学している児童に放課後等の適切な遊びや生活の場を提供する安全・安心な居場所。

## 児童虐待相談対応件数は前年度に比べ3.3%減少

県子ども安全課によると、令和2年度の児童相談所の児童虐待相談対応件数は16,902件で、前年度(17,473件)に比べて、571件減少(△3.3%)しました。虐待種別で見ると、心理的虐待が10,602件で最も多く、全体の62.7%を占めています。次いで身体的虐待3,819件、保護の怠慢・拒否2,339件、性的虐待142件の順でした。虐待者別にみると、実母が8,045件で最も多く、次いで実父6,849件となっています。

※表\*1、2及び文中の「保育所等」には、保育所、幼保連携型認定子ども園、幼稚園型認定子ども園、地方裁量型認定子ども園、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業が含まれます。

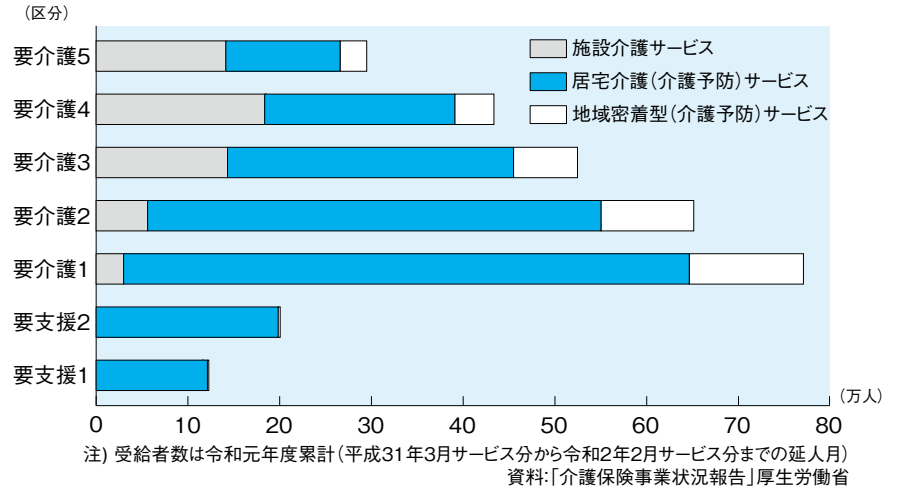
※表\*3及び文中の「地域子育て支援拠点数」のか所数は、子ども・子育て支援交付金の交付決定ベースの数値です。

# 19 高齢者

単位	*1 スポーツの行動者率 (65歳以上)		*2 高齢者人口に占める 要介護(要支援) 認定者数の割合		*3 要介護(要支援) 認定者数		*4 介護老人福祉 施設数	
	%	順位	%	順位	人	順位	施設	順位
全 国	60.3		18.4		6,686,282		8,234	
北海道	56.6	30	20.0	8	337,756	4	375	6
青森県	43.0	47	17.8	31	76,003	30	97	32
岩手県	49.3	43	19.2	17	79,553	28	121	26
宮城県	58.3	24	18.3	27	118,876	16	161	17
秋田県	47.8	45	20.1	7	73,509	31	123	25
山形県	46.2	46	17.9	30	65,382	34	104	31
福島県	53.2	39	19.2	18	113,898	17	159	19
茨城県	62.1	11	15.4	46	132,559	14	258	10
栃木県	61.1	14	15.8	44	89,995	25	140	23
群馬県	62.3	10	17.3	37	101,828	22	177	14
埼玉県	67.3	1	15.4	47	306,109	7	432	3
千葉県	65.4	3	16.3	42	284,769	8	400	5
東京都	66.5	2	19.4	16	621,019	1	553	1
神奈川県	65.1	4	17.6	33	415,169	3	427	4
新潟県	49.1	44	18.8	23	137,408	13	210	12
富山県	56.3	31	18.7	24	63,739	36	85	38
石川県	57.8	26	17.5	35	59,142	39	77	40
福井県	53.3	38	17.6	34	41,487	45	70	41
山梨県	60.6	15	15.6	45	39,685	46	59	44
長野県	62.5	8	17.2	38	113,375	18	167	15
岐阜県	59.9	17	16.9	39	103,458	20	141	22
静岡県	61.4	13	16.1	43	178,620	10	258	10
愛知県	61.9	12	16.6	40	318,412	6	283	9
三重県	57.3	28	18.5	25	99,560	23	160	18
滋賀県	64.3	5	17.4	36	65,073	35	90	36
京都府	62.9	7	20.8	4	156,422	12	159	19
大阪府	59.9	17	21.7	2	524,705	2	434	2
兵庫県	63.2	6	19.9	10	318,670	5	348	7
奈良県	62.4	9	18.4	26	78,299	29	113	28
和歌山県	51.2	42	21.8	1	68,379	33	92	35
鳥取県	53.9	35	19.4	15	34,875	47	44	47
島根県	53.5	37	20.8	5	48,282	42	93	34
岡山県	58.4	23	20.7	6	118,896	15	154	21
広島県	60.0	16	19.1	19	158,862	11	188	13
山口県	55.2	33	19.0	21	89,718	26	106	29
徳島県	57.6	27	20.0	9	49,277	41	66	42
香川県	59.0	22	19.6	13	60,204	37	89	37
愛媛県	59.4	19	20.9	3	93,699	24	106	29
高知県	52.4	40	19.0	22	47,186	43	59	44
福岡県	58.2	25	19.1	20	271,825	9	331	8
佐賀県	51.5	41	18.2	28	45,440	44	58	46
長崎県	53.7	36	19.9	11	87,950	27	120	27
熊本県	57.0	29	19.8	12	109,220	19	138	24
大分県	59.2	21	18.1	29	68,424	32	85	38
宮崎県	55.7	32	16.4	41	58,222	40	96	33
鹿児島県	59.4	19	19.6	14	102,067	21	166	16
沖縄県	54.5	34	17.7	32	59,276	38	62	43

資料出所 調査時点又は期間 調査周期  
 \*1 「社会生活基本調査」総務省統計局 平成28年10月 5年  
 \*2,3 「介護保険事業状況報告」厚生労働省 令和元年度末 毎年  
 \*4 「介護サービス施設・事業所調査」厚生労働省 令和元年10月1日 毎年

# 介護保険サービス受給者数(第1号被保険者)(令和元年度)



## 65歳以上のスポーツの行動者率は全国第1位

「社会生活基本調査」によると、平成28年調査における65歳以上のスポーツの行動者率は67.3%で、前回調査(平成23年)に引き続き全国第1位でした。

## 高齢者人口に占める要介護(要支援)認定者数の割合は全国第47位

「介護保険事業状況報告」によると、令和元年度末現在の高齢者人口に占める要介護(要支援)認定者数の割合は15.4%で、前年度に引き続き全国第47位でした。

なお、要介護(要支援)認定者数は306,109人で、このうち第1号被保険者(65歳以上の者)は298,293人、第2号被保険者(40歳から64歳までの医療保険加入者)は7,816人でした。

### 高齢者人口に占める要介護(要支援)認定者数の割合

$$\text{第1号被保険者のうち要介護(要支援)認定者数} \div \text{第1号被保険者数} \times 100$$

## 介護老人福祉施設数は全国第3位

「介護サービス施設・事業所調査」によると、令和元年10月1日現在の介護老人福祉施設数は432施設で、東京都、大阪府に次いで全国第3位でした。

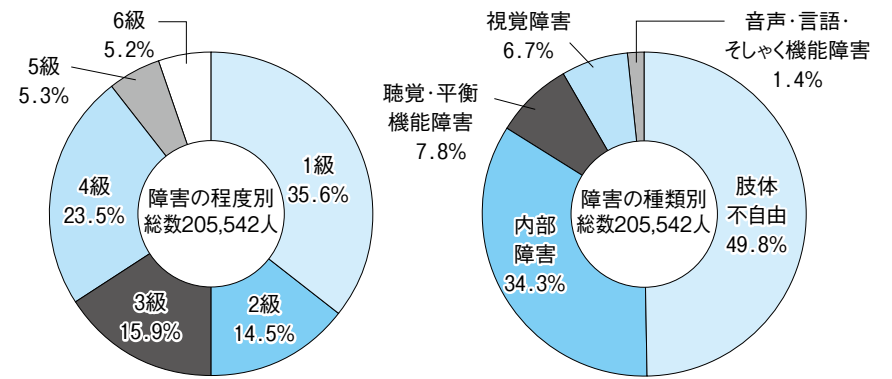
# 20 障害者

単位	*1 障害者支援施設数		*2 地域活動支援センター数		*3 身体障害者手帳交付台帳登録数		*4 障害者実雇用率(民間企業)	
	施設	順位	施設	順位	人	順位	%	順位
全 国	2,561		2,935		5,054,188		2.15	
北海道	206	1	168	2	296,912	3	2.35	15
青森県	59	15	35	25	56,680	33	2.30	18
岩手県	46	22	62	16	51,342	36	2.28	22
宮城県	38	31	65	14	80,916	19	2.17	34
秋田県	45	25	19	40	65,189	29	2.25	24
山形県	29	35	20	38	51,302	37	2.11	43
福島県	40	29	17	42	79,577	20	2.16	37
茨城県	73	10	59	17	89,154	15	2.19	30
栃木県	51	18	48	20	70,887	25	2.18	32
群馬県	49	20	72	12	69,266	27	2.16	37
埼玉県	98	4	137	6	205,542	8	2.30	18
千葉県	87	7	136	7	179,242	9	2.12	41
東京都	94	5	160	3	488,905	1	2.04	47
神奈川県	87	7	380	1	268,933	4	2.13	39
新潟県	58	16	98	9	89,742	14	2.17	34
富山県	27	41	23	36	46,596	38	2.13	39
石川県	29	35	25	33	42,053	40	2.35	15
福井県	27	41	13	45	36,909	43	2.44	10
山梨県	28	38	37	22	35,220	44	2.05	46
長野県	58	16	98	9	87,693	16	2.25	24
岐阜県	46	22	34	26	83,154	18	2.17	34
静岡県	73	10	48	20	122,715	11	2.19	30
愛知県	72	12	131	8	237,520	6	2.08	44
三重県	39	30	12	46	72,024	23	2.28	22
滋賀県	23	44	14	44	53,745	35	2.29	20
京都府	50	19	26	32	143,357	10	2.24	27
大阪府	90	6	157	4	385,116	2	2.12	41
兵庫県	99	3	153	5	238,083	5	2.21	29
奈良県	31	33	22	37	78,307	21	2.83	1
和歌山県	26	43	20	38	54,000	34	2.53	8
鳥取県	23	44	9	47	26,160	47	2.37	14
島根県	29	35	34	26	32,617	46	2.59	6
岡山県	46	22	69	13	70,970	24	2.44	10
広島県	65	13	63	15	113,217	12	2.25	24
山口県	47	21	24	34	62,066	30	2.61	4
徳島県	28	38	37	22	34,676	45	2.22	28
香川県	22	46	27	31	43,143	39	2.08	44
愛媛県	43	28	33	29	66,900	28	2.29	20
高知県	28	38	17	42	40,264	42	2.40	13
福岡県	128	2	85	11	216,673	7	2.18	32
佐賀県	22	46	19	40	41,343	41	2.65	3
長崎県	44	27	34	26	72,864	22	2.61	4
熊本県	63	14	49	19	87,503	17	2.35	15
大分県	37	32	24	34	60,859	32	2.55	7
宮崎県	30	34	32	30	61,391	31	2.52	9
鹿児島県	76	9	54	18	93,454	13	2.44	10
沖縄県	45	25	36	24	70,007	26	2.74	2

資料出所  
\*1,2 「社会福祉施設等調査」厚生労働省  
\*3 「福祉行政報告例」厚生労働省  
\*4 「障害者雇用状況の集計結果」厚生労働省

調査時点又は期間  
令和元年10月1日  
令和元年度末  
令和2年6月1日  
調査周期  
毎年  
毎年  
毎年

## 身体障害者手帳交付台帳登録数構成比(令和元年度末現在)



資料:「福祉行政報告例」厚生労働省

### 障害者支援施設数は全国第4位

「社会福祉施設等調査」によると、令和元年10月1日現在の障害者支援施設数は98施設で全国第4位、地域活動支援センター数は137施設で全国第6位で、いずれも前年度と同順位でした。

- 障害者支援施設** 障害者につき、施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う施設。
- 地域活動支援センター** 障害者等を通わせ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進その他の便宜を供与する施設。

### 身体障害者手帳交付台帳登録数の約半数は1級又は2級

「福祉行政報告例」によると、令和元年度末現在の身体障害者手帳交付台帳登録数は205,542人(肢体不自由102,388人、内部障害70,453人、聴覚・平衡機能障害16,102人、視覚障害13,801人、音声・言語・そしゃく機能障害2,798人)でした。障害の程度別にみると、1級73,158人、2級29,823人、3級32,591人、4級48,262人、5級10,935人、6級10,773人で、全体の約半数は1級又は2級でした。

※表\*1、2は、活動中の施設数です。

※表\*1の全国の数値は、国の施設数(7)を含みます。

※表\*4は従業員45.5人以上の民間企業について、「障害者の雇用の促進等に関する法律」の規定に基づき算定された数値です。



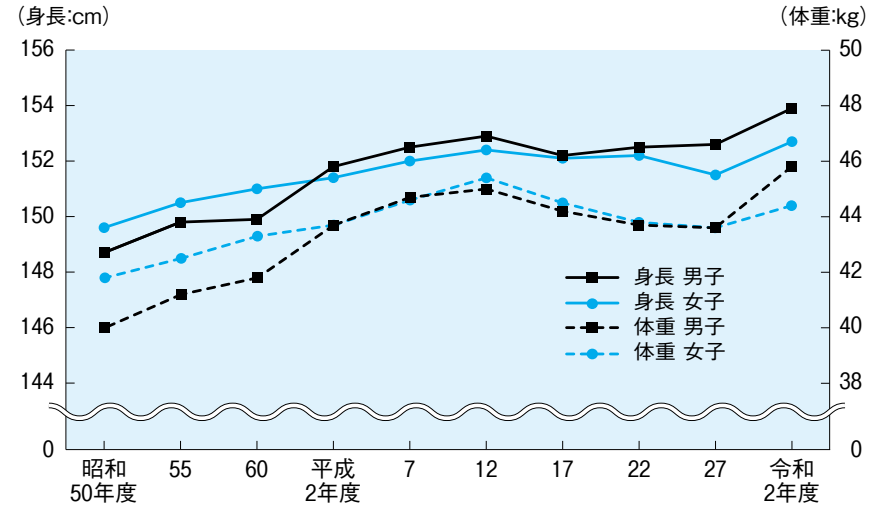
# 21 学校保健

単位	*1 肥満傾向児の出現率 (12歳)		*2 痩身傾向児の出現率 (12歳)		*3 むし歯(う歯)の被患率 (12歳)		*4 アトピー性皮膚炎 の被患率(12歳)	
	%	順位	%	順位	%	順位	%	順位
全 国	10.84		4.00		29.44		2.85	
北海道	11.98	18	3.76	19	35.6	8	4.8	3
青森県	16.75	1	2.58	40	36.8	6	1.1	45
岩手県	14.62	3	2.28	43	32.7	18	2.0	32
宮城県	14.12	5	2.99	31	34.9	12	3.3	13
秋田県	12.08	17	3.22	28	29.9	27	3.7	9
山形県	13.41	8	4.25	11	24.5	43	3.3	13
福島県	13.61	7	2.66	38	38.2	4	2.6	23
茨城県	12.79	13	2.79	35	33.2	16	6.1	1
栃木県	13.25	10	2.89	33	32.0	20	4.7	5
群馬県	10.76	28	2.95	32	31.3	23	3.3	13
埼玉県	11.11	25	3.07	30	26.2	35	2.5	26
千葉県	12.55	14	4.07	14	25.1	41	3.1	18
東京都	10.95	27	4.97	5	25.6	39	3.6	12
神奈川県	10.73	29	5.14	3	26.0	36	2.4	28
新潟県	9.09	38	4.77	7	17.4	47	5.2	2
富山県	9.39	36	3.37	25	23.3	44	2.1	29
石川県	8.06	46	3.98	15	30.6	24	1.8	35
福井県	9.32	37	3.65	21	35.4	10	3.1	18
山梨県	11.98	18	3.33	26	32.9	17	2.9	21
長野県	9.82	34	3.86	18	25.8	38	3.7	9
岐阜県	10.97	26	4.18	13	23.3	44	2.1	29
静岡県	9.78	35	4.43	10	22.3	46	1.7	38
愛知県	8.61	41	4.89	6	24.6	42	4.1	6
三重県	10.00	32	3.96	16	31.6	22	2.6	23
滋賀県	8.49	42	4.71	8	28.6	31	1.7	38
京都府	9.90	33	5.45	1	26.7	34	3.3	13
大阪府	8.45	43	5.03	4	30.2	25	2.0	32
兵庫県	8.37	44	4.44	9	25.9	37	1.8	35
奈良県	7.72	47	5.42	2	28.1	32	4.1	6
和歌山県	11.65	22	1.86	46	31.7	21	1.2	44
鳥取県	8.87	39	3.31	27	32.6	19	3.7	9
島根県	8.26	45	2.40	41	35.9	7	4.8	3
岡山県	11.54	23	3.70	20	27.4	33	3.3	13
広島県	12.44	15	3.12	29	28.8	30	2.5	26
山口県	10.01	31	2.07	44	30.0	26	1.9	34
徳島県	16.35	2	2.84	34	34.5	14	3.0	20
香川県	8.75	40	3.44	24	33.5	15	2.7	22
愛媛県	11.40	24	2.59	39	29.2	29	2.1	29
高知県	13.24	11	2.72	36	29.8	28	2.6	23
福岡県	10.32	30	3.93	17	38.9	3	1.3	42
佐賀県	13.36	9	2.68	37	25.3	40	1.0	46
長崎県	11.73	21	3.54	22	35.6	8	4.1	6
熊本県	12.10	16	3.50	23	34.9	12	1.3	42
大分県	13.64	6	1.90	45	51.2	2	1.6	40
宮崎県	12.87	12	2.35	42	35.0	11	1.4	41
鹿児島県	11.76	20	4.19	12	37.1	5	1.0	46
沖縄県	14.27	4	1.80	47	55.8	1	1.8	35

資料出所  
\*1～4「学校保健統計」文部科学省

調査時点又は期間  
令和2年度  
調査周期  
毎年

## 平均身長・体重の推移(12歳)



資料:「学校保健統計」文部科学省

### 肥満傾向児の出現率は、10歳が最も高い13.31%

「学校保健統計」によると、令和2年度の肥満傾向児の出現率(12歳)は11.11%で、全国平均(10.84%)を上回りました。出現率を年齢別(5～17歳)にみると、11歳、14歳、16歳を除く全ての年齢で全国平均を上回り、最も高かったのは10歳(13.31%)でした。

また、痩身傾向児の出現率(12歳)は3.07%で、全国平均(4.00%)を下回りました。年齢別(5～17歳)にみると、5歳、8歳、9歳、10歳及び16歳で全国平均を上回り、最も高かったのは16歳(4.79%)でした。

**肥満傾向児・痩身傾向児** 性別・年齢別・身長別標準体重から求めた肥満度が20%以上の者を肥満傾向児、△20%以下の者を痩身傾向児といいます。

**肥満度** (実測体重－身長別標準体重)÷身長別標準体重×100

### 12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)数は、0.6本

むし歯(う歯)の被患率(12歳)は26.2%で、全国平均(29.44%)を下回りました。12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)数は、0.6本(全国平均0.67本)でした。

アトピー性皮膚炎の被患率(12歳)は2.5%で、全国平均(2.85%)を下回りました。むし歯(う歯)とアトピー性皮膚炎の被患率を年齢別(5～17歳)にみると、6歳、7歳及び11歳のアトピー性皮膚炎の被患率以外は、全国平均を下回りました。

### 身長、体重の推移

12歳の身長、体重を親の世代(30年前の平成2年度)と比較すると、身長は、男子は2.1cm、女子は1.3cm高くなっています。体重は、男子が2.1kg、女子は0.7kg増加しました。

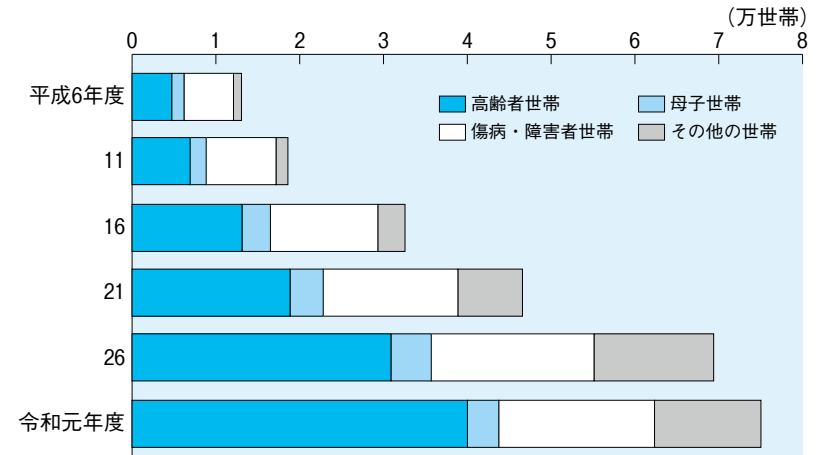
# 22 生活保護

単位	*1 被保護実世帯数 (月平均)		*2 被保護実人員 (月平均)		*3 保護率 (月平均・人口千対)		*4 保護開始世帯数 (月平均)	
	世帯	順位	人	順位	—	順位	世帯	順位
全 国	1,635,724		2,073,117		16.4		16,564	
北 海 道	122,905	3	158,002	3	30.1	2	1,175	4
青 森 県	23,959	14	29,345	15	23.6	6	186	19
岩 手 県	10,561	34	13,115	34	10.7	29	110	31
宮 城 県	22,436	17	29,307	16	12.7	25	276	14
秋 田 県	11,316	33	14,206	33	14.7	20	99	34
山 形 県	6,527	40	7,926	40	7.4	42	77	39
福 島 県	14,026	28	17,379	28	9.4	34	169	21
茨 城 県	22,630	16	28,183	17	9.9	32	254	15
栃 木 県	16,461	22	20,297	23	10.5	30	158	23
群 馬 県	12,525	30	14,984	31	7.7	41	131	28
埼 玉 県	75,413	7	97,108	7	13.2	23	810	7
千 葉 県	68,528	8	86,696	8	13.9	22	834	6
東 京 都	231,697	1	285,392	1	20.5	9	2,174	2
神 奈 川 県	119,265	4	153,354	4	16.7	14	1,407	3
新 潟 県	16,356	23	20,847	22	9.4	35	179	20
富 山 県	3,247	47	3,711	47	3.6	47	44	46
石 川 県	6,126	42	7,118	42	6.3	43	52	44
福 井 県	3,430	46	4,161	46	5.4	45	39	47
山 梨 県	5,713	43	7,012	43	8.6	37	61	42
長 野 県	9,010	37	11,086	37	5.4	46	111	30
岐 阜 県	9,629	36	11,685	36	5.9	44	98	35
静 岡 県	25,215	13	31,300	13	8.6	38	318	11
愛 知 県	60,998	9	76,200	9	10.1	31	806	8
三 重 県	12,547	29	15,685	29	8.8	36	145	25
滋 賀 県	8,199	39	11,036	38	7.8	40	94	37
京 都 府	42,445	10	56,876	10	22.0	7	389	10
大 阪 府	220,337	2	278,277	2	31.6	1	2,235	1
兵 庫 県	78,381	6	102,486	6	18.7	11	696	9
奈 良 県	14,687	26	19,612	25	14.7	19	98	35
和 歌 山 県	12,380	31	14,993	30	16.2	16	110	31
鳥 取 県	5,483	44	6,989	44	12.6	26	55	43
島 根 県	4,493	45	5,666	45	8.4	39	48	45
岡 山 県	18,876	20	24,722	19	13.1	24	194	18
広 島 県	31,851	11	41,484	11	14.8	18	306	13
山 口 県	11,805	32	14,523	32	10.7	28	100	33
徳 島 県	10,431	35	13,081	35	18.0	12	77	39
香 川 県	8,201	38	10,351	39	10.8	27	79	38
愛 媛 県	17,310	21	21,039	21	15.7	17	140	27
高 知 県	14,814	25	18,647	26	26.7	3	121	29
福 岡 県	94,600	5	123,357	5	24.2	5	836	5
佐 賀 県	6,523	41	7,844	41	9.6	33	69	41
長 崎 県	21,507	18	27,852	18	21.0	8	165	22
熊 本 県	19,389	19	24,570	20	14.1	21	248	16
大 分 県	16,102	24	19,703	24	17.4	13	144	26
宮 崎 県	14,299	27	17,848	27	16.6	15	146	24
鹿 児 島 県	23,526	15	30,224	14	18.9	10	205	17
沖 縄 県	29,568	12	37,845	12	26.0	4	307	12

資料出所  
\*1~4「被保護者調査」厚生労働省

調査時点又は期間  
令和元年度  
調査周期  
毎年

## 世帯類型別被保護世帯数の推移(各年度月平均)



注) 保護停止中を除く。  
資料:「埼玉県の生活保護」県社会福祉課

### 被保護実世帯数が27年度連続増加

「被保護者調査」によると、令和元年度の被保護実世帯数(月平均)は、前年度より875世帯増加し、75,413世帯でした。また、被保護実人員(月平均)は22人減少し、97,108人でした。

月平均の保護率(人口千対)は、前年度の13.3(全国16.6)から13.2(全国16.4)に低下しました。保護開始世帯数(月平均)は、前年度より4世帯増加し、810世帯でした。

$$\text{保護率} = \frac{\text{被保護実人員(月平均)}}{\text{人口}} \times 1,000$$

※表\*3の比率算出に用いた人口は、令和元年10月1日現在「人口推計」(総務省統計局)によるものです。

### 被保護世帯の80.0%が単身者世帯

「埼玉県の生活保護」によると、被保護世帯数(保護停止中を除く)を世帯類型別にみると、その他の世帯の割合が全国に比べ高く(埼玉県16.9%、全国14.9%)なっています。これは、平成20年のリーマンショックによる景気悪化の影響により職を失った人が急増したこと等によります。

一方、高齢者世帯の割合は全国より低く(埼玉県53.1%、全国55.1%)なっていますが、3年度連続で50%を超えました。また、被保護世帯に占める単身者世帯の割合(単身率)は前年度より1.0ポイント増加し、80.0%(全国81.6%)でした。

# 23 助け合い

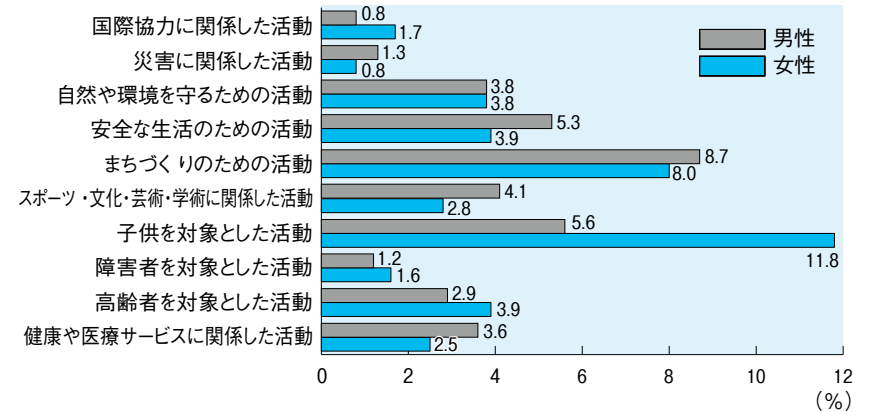
単位	*1 防犯ボランティア団体数		*2 特定非営利活動促進法に基づく認証法人数		*3 献血者数		*4 骨髄提供希望者登録者数	
	団体	順位	法人	順位	人	順位	人	順位
全 国	46,002		50,884		5,037,920		530,953	
北海道	1,380	9	2,163	5	258,633	5	16,952	13
青森県	348	31	407	36	48,988	32	9,958	16
岩手県	322	37	479	29	44,524	35	3,171	42
宮城県	339	33	817	16	93,215	15	18,545	11
秋田県	201	45	351	43	42,013	36	2,625	43
山形県	423	27	434	34	41,441	38	8,236	22
福島県	338	34	932	13	76,235	21	14,734	14
茨城県	1,026	12	860	15	105,476	13	8,434	21
栃木県	1,026	12	627	24	96,198	14	18,598	10
群馬県	805	19	802	17	92,299	16	6,078	25
埼玉県	6,056	1	2,149	6	240,447	6	27,516	3
千葉県	3,037	4	1,981	8	226,679	7	18,197	12
東京都	3,693	2	9,152	1	545,189	1	67,073	1
神奈川県	3,492	3	3,589	2	327,139	3	25,507	4
新潟県	898	14	723	23	90,252	17	9,096	18
富山県	586	22	381	40	37,468	40	3,838	40
石川県	441	26	372	41	45,186	33	4,707	32
福井県	340	32	249	47	29,112	44	2,156	47
山梨県	274	40	475	31	38,596	39	2,268	46
長野県	550	25	981	12	79,304	19	5,091	31
岐阜県	1,180	11	748	21	68,740	22	5,102	30
静岡県	864	15	1,244	11	131,251	10	9,142	17
愛知県	2,617	5	1,990	7	295,251	4	21,740	7
三重県	808	18	749	20	63,992	24	4,585	35
滋賀県	238	42	588	25	53,176	28	7,066	24
京都府	861	16	1,346	10	115,567	12	19,407	9
大阪府	1,818	7	3,480	3	396,847	2	29,758	2
兵庫県	1,800	8	2,186	4	217,093	8	20,228	8
奈良県	838	17	513	26	49,723	30	4,644	34
和歌山県	223	44	384	38	45,062	34	5,962	26
鳥取県	168	46	303	45	23,495	46	2,591	44
島根県	326	35	285	46	22,591	47	5,284	28
岡山県	1,368	10	752	19	79,835	18	8,956	19
広島県	666	21	788	18	123,322	11	9,977	15
山口県	421	28	427	35	52,913	29	3,422	41
徳島県	324	36	362	42	28,529	45	2,471	45
香川県	250	41	393	37	37,417	41	4,067	39
愛媛県	307	39	497	28	54,019	27	5,745	27
高知県	157	47	338	44	29,427	43	4,120	38
福岡県	2,029	6	1,710	9	212,873	9	24,688	6
佐賀県	229	43	382	39	35,149	42	5,163	29
長崎県	364	30	508	27	54,947	25	7,206	23
熊本県	568	23	747	22	77,069	20	8,618	20
大分県	414	29	461	32	49,659	31	4,162	37
宮崎県	319	38	440	33	41,699	37	4,531	36
鹿児島県	702	20	862	14	65,015	23	4,690	33
沖縄県	568	23	477	30	54,865	26	24,848	5

資料出所  
 \*1 警察庁  
 \*2 内閣府  
 \*3 「血液事業年度報」日本赤十字社  
 \*4 (公財)日本骨髄バンク

調査時点又は期間  
 令和2年12月31日  
 令和3年11月末  
 令和2年度  
 令和3年3月末

調査周期  
 毎年  
 毎月  
 毎年  
 毎月

# ボランティア活動の種類別行動者率



注) 数値は、平成28年10月現在で過去1年間にボランティア活動を行った、10歳以上人口に占める行動者数の割合。  
 資料: 「社会生活基本調査」総務省統計局

## 防犯ボランティア団体数は全国最多

防犯ボランティア団体は、地域で自主的に防犯パトロールや子供の見守り活動等の防犯活動を行う団体です。本県では「わがまち防犯隊」の愛称で呼ばれ、その多くは自治会により組織されています。

警察庁によると、令和2年12月31日現在の防犯ボランティア団体数は6,056団体で、全国第1位でした。また、内閣府によると、特定非営利活動促進法が定める要件を満たして設立を認証された法人数は、令和3年11月末現在2,149法人で、全国第6位でした。

## 年代別献血率は50歳代がトップ

「血液事業年度報」によると、令和2年度の献血者数は240,447人でした。このうち成分献血者数は70,242人、400mL献血者数は157,262人、200mL献血者数は12,943人でした。

また、年代別に献血率をみると50歳代が7.0%で最も高く、次いで40歳代が5.8%となっています。

献血率 献血者数÷人口×100

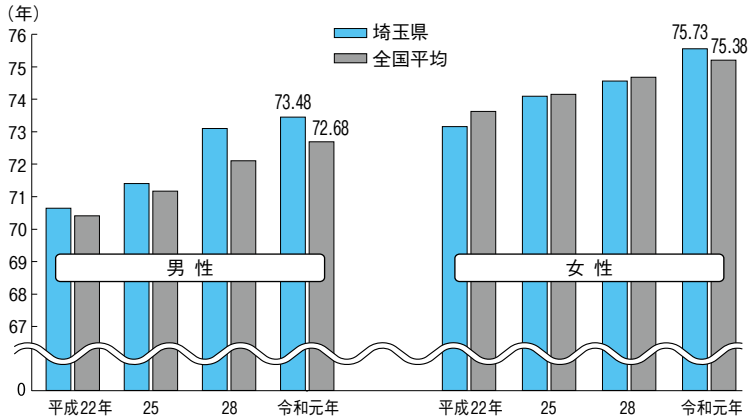
※文中の献血率算出に用いた人口は、令和2年1月1日現在の「住民基本台帳人口要覧」(公益財団法人国土地理協会)によるものです。

公益財団法人日本骨髄バンクによると、令和3年3月末現在の骨髄提供希望者(ドナー)登録者数は27,516人で、前年より92人減少し、全国第3位でした。

## ◆健康寿命◆

厚生労働省では、健康寿命「日常生活に制限のない期間の平均」の推計値について、国民生活基礎調査の結果を基に算出しています。

同省の「健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」によると、令和元年の埼玉県  
の健康寿命は、男性が73.48年で大分県（73.72年）、山梨県（73.57年）に次いで全国  
第3位、女性が全国平均を0.35年上回る75.73年で全国第20位でした。

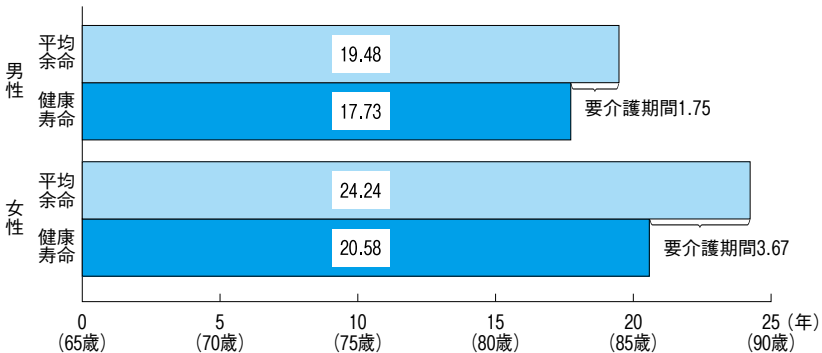


資料：「健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」厚生労働省

## ◆県民の65歳健康寿命と65歳平均余命◆

県では、65歳に達した県民が介護保険制度の要介護2以上になるまでの期間を「65歳健康寿命」として算出しています。

令和元年の埼玉県の男性の65歳健康寿命は17.73年でした。65歳平均余命（65歳に達した人が65歳以降に生存する平均年数）から65歳健康寿命を引いた期間が要介護期間で、1.75年でした。女性の65歳健康寿命は20.58年で、要介護期間は3.67年でした。



※端数処理の関係で、グラフの数値が内訳と合計で一致しないものがあります。  
資料：衛生研究所